# 編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

| 受理番号 | 学　校 | 教　科 | 種　目 | 学　年 |
|---|---|---|---|---|
| 103-191 | 高等学校 | 芸術 | 音楽Ⅱ | |
| 発行者の<br>番号・略称 | 教科書の<br>記号・番号 | 教　科　書　名 | | |
| 17 教出 | 音Ⅱ 701 | **音楽Ⅱ Tutti ＋** | | |

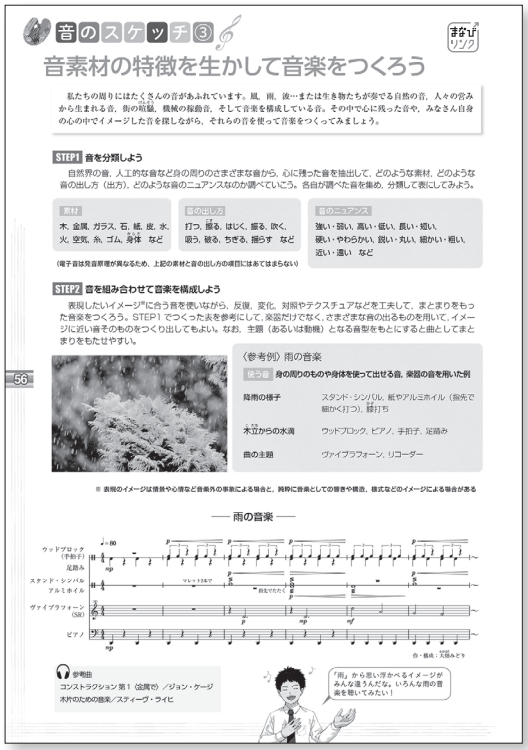
## 1．編修の基本方針

本教科書は，教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第１～第５号）」を，学習活動を通して実現できるように編修しました。様々な楽曲や音楽活動を通して，芸術文化についての**幅広い知識と教養を身に付ける**とともに，**個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし**ながら生徒一人一人の**豊かな情操や創造性を培う**ことを目指すよう配慮しました。また，教材や学習内容の設定において，**自他の敬愛と協力を重んずる態度や生命を尊び，自然を大切にする態度，平和に寄与する態度を養う**こと，ならびに**伝統と文化を尊重し，我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重する態度を養う**ことができるよう配慮しました。

**幅広い知識・教養を身に付ける**

▲p.84　史跡でたどる西洋音楽史

**個人の価値を尊重して
能力を伸ばし，創造性を培う**



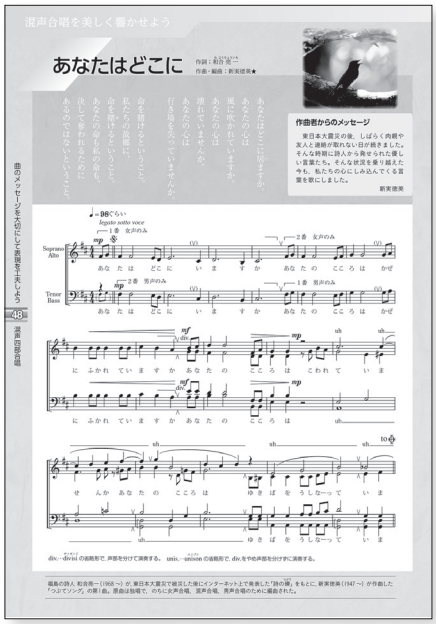

▲p.56　音のスケッチ③

## 豊かな情操を培う

### 教科書全般

様々な表現や鑑賞活動を通して，豊かな情操と道徳心を培います。

## 自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う




▲p.48　あなたはどこに

女声と男声が協調し合い，豊かな響きを生む混声合唱を取り上げています。『あなたはどこに』の歌詞には相手を思いやる心が描かれています。

## 他国を尊重し，平和に寄与する態度を養う

▲p.78　世界の音楽と踊り

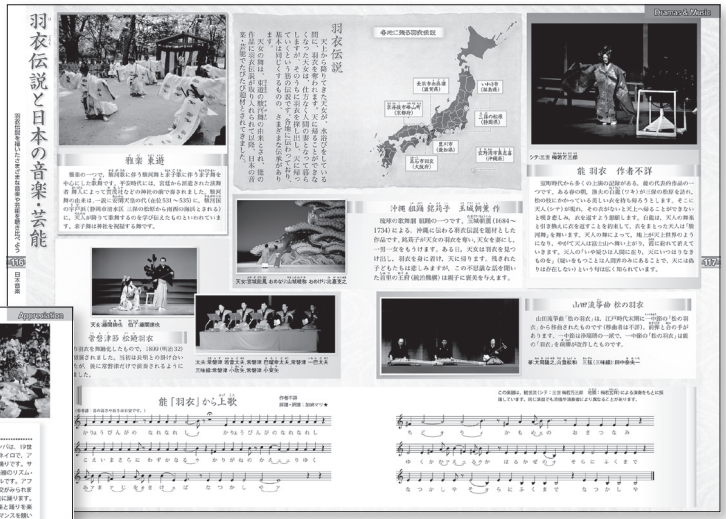
## 生命を尊び，自然を大切にする態度を養う

▲p.76　日本の音風景～四季の音楽～

## 我が国と郷土を愛する態度を養う

p.42　こきりこ節　　p.43　佐渡おけさ　　p.72　八木節音頭

## 伝統と文化を尊重する態度を養う




▲p.116　羽衣伝説と日本の音楽・芸能

### 構成・内容

- 様々な音楽活動を通して，**個人の価値を尊重し，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う**とともに，生徒一人一人の**豊かな情操と創造性を培う**ことができるような構成及び内容としました。
- 様々な鑑賞活動や我が国及び西洋の音楽史を通して，**幅広い知識と教養を身に付ける**とともに，**伝統と文化を尊重する**ことができるよう配慮しました。

### 教材の選択

- **個人の価値を尊重し，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う**とともに，生徒一人一人の**創造性を培う**ことができるよう教材の選択及び設定に配慮しました。
- 日本や他国の多様な音楽文化にふれながら，**我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重する態度を養う**ことができるよう教材の選択や資料の設定を行いました。
- 時代や曲種等に偏りなく幅広いジャンルの中から教材を選択し，音楽の多様なよさや美しさを感じ取りながら，**伝統と文化を尊重し，豊かな情操を培う**ことができるよう工夫しました。
- 楽曲に込められた思いやメッセージにふれながら，**生命を尊び，自然を大切に**思う心情や，**平和に寄与する態度を養っていく**ことができるよう工夫しました。

## 2．対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第１号から第５号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第１号〉幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと。

〈第２号〉個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第３号〉正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第４号〉生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第５号〉伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|---|
| **Voice** | • 歌う活動を通して，生徒一人一人が目的意識をもちながら，**個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培う**よう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第２号〉<br>• 歌う活動を通して，生徒同士が心を通わせ，**自他の敬愛と協力を重んじ**ながら，音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第３号〉<br>• 自然や四季の美しさ，生命の大切さをテーマとした楽曲を取り上げ，**生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養う**よう配慮しました。〈第４号〉<br>• 各地の民謡や芸能を取り上げ，**それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う**よう配慮しました。〈第５号〉 | p.4 ～55<br>p.4 ～55<br>p.20 ～21，48 ～51<br>p.42 ～43 |
| **Instruments** | • 楽器の演奏を通して，生徒一人一人が目的意識をもちながら，**個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培う**よう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第２号〉<br>• 楽器の演奏を通して，生徒同士が心を通わせ，**自他の敬愛と協力を重んじ**ながら，音楽活動を進められるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第３号〉<br>• 和楽器を実際に演奏し，その響きや奏法を体験しながら，**幅広い知識と教養を身に付け，伝統と文化を尊重する態度を養う**よう配慮しました。〈第１，５号〉 | p.57 ～ 73<br>p.57 ～ 73<br>p.68 ～ 73 |
| **Appreciation** | • 様々な時代や地域の多様な音楽にふれ，その特徴やよさを味わいながら，**幅広い知識と教養を身に付ける**とともに，**他国を尊重する態度を養う**よう配慮しました。〈第1，5号〉<br>• 世界の様々な音楽について，その個々の特徴を知るとともに，その背景となる文化や歴史にふれながら，**他国を尊重する態度を養う**よう配慮しました。〈第５号〉<br>• 我が国に伝わる音楽や芸能の系譜を学ぶとともに，その特徴やよさを味わいながら，**幅広い知識と教養を身に付け，伝統と文化を尊重する態度を養う**よう配慮しました。〈第１，５号〉 | p.75 ～ 107<br>p.78 ～ 81<br>p.75 ～ 77 |

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|---|
| Dramas & Music | • 生徒一人一人が目的意識をもちながら，**個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培う**よう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第２号〉<br>• 歌う活動を通して，生徒同士が心を通わせ，**自他の敬愛と協力を重んじ**ながら，音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第３号〉 | p.108 ～ 121<br>p.112 ～ 113, 118 ～ 121 |
| **音のスケッチ** | • 様々な創作活動を通して，生徒一人一人が目的意識をもちながら，**個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培う**よう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第２号〉 | p. 22 ～ 23, 47, 56, 82 ～ 83, 98 ～ 99 |

## ３．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため，以下の点について編修上の工夫をしました。

**• カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面**

色覚特性を踏まえた，判読しやすい配色や表示の工夫により，すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

**• 環境にやさしい教科書**

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し，地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

**• 見やすさに配慮した紙面**

判型は「A4」を採用し，楽譜，文字，写真，図表などの見やすさに配慮しています。

**• 学びを支えるWEBリンク**

当社ウェブサイトを通して，外国語の歌詞の朗読など，学習に役立つコンテンツを利用いただけます。

まなびリンク

# 編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表，配当授業時数表）

| 受理番号 | 学　校 | 教　科 | 種　目 | 学　年 |
|---|---|---|---|---|
| 103-191 | 高等学校 | 芸術 | 音楽Ⅱ | |
| 発行者の<br>番号・略称 | 教科書の<br>記号・番号 | 教　科　書　名 | | |
| 17 教出 | 音Ⅱ 701 | **音楽Ⅱ Tutti ＋** | | |

## 1．編修上特に意を用いた点や特色

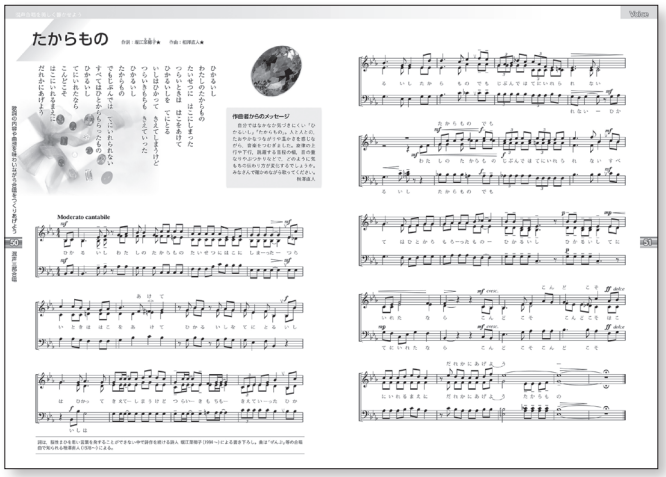
本教科書は，生涯学習を視野に入れながら，生徒一人一人の感性を高め，意欲を喚起するとともに，知識及び技能を習得し，**「思考力，判断力，表現力等」**を身に付けながら主体的に学ぶこと，個性を生かした創造的な音楽活動を展開していくことができる構成及び内容としました。

### 4つのブロックと題材構成

音楽の幅広い活動を通して，**音楽やそれを取り巻く文化に幅広く関わる資質・能力を育成すること**をねらいとし，「Voice」「Instruments」「Appreciation」「Dramas & Music」の各ブロックを置き，それぞれに学習活動を明確化するための**題材**を設けました。題材は複数の教材から選んで授業を展開できるように構成し，それぞれの教材には生徒が自ら進んで音楽活動を深めることができるよう**ねらい**を設けました。

#### Voice

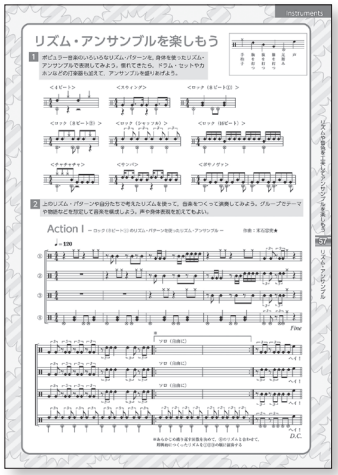
歌曲からポピュラー音楽，各地の民謡まで，様々な種類の楽曲を取り上げました。原語による歌唱も体験できるよう配慮しました。




▲p.50　たからもの

#### Instruments

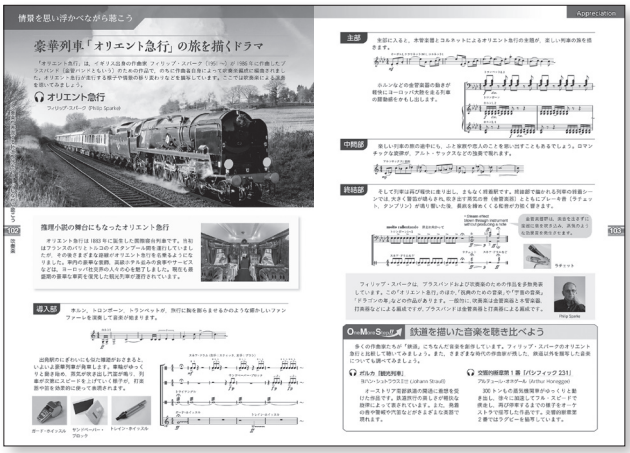
リコーダーやギターの重奏から，和楽器，リズム・アンサンブルなど，様々な形態の器楽曲に取り組めるよう配慮しました。




▲p.57　リズム・アンサンブルを楽しもう

## Appreciation

題材ごとに設定したテーマをもとに，様々な時代，地域，曲種からバラエティに富んだ楽曲を取り上げました。日本音楽では，雅楽の鑑賞や篳篥の演奏を促す題材を設けました。




▲p.102　オリエント急行

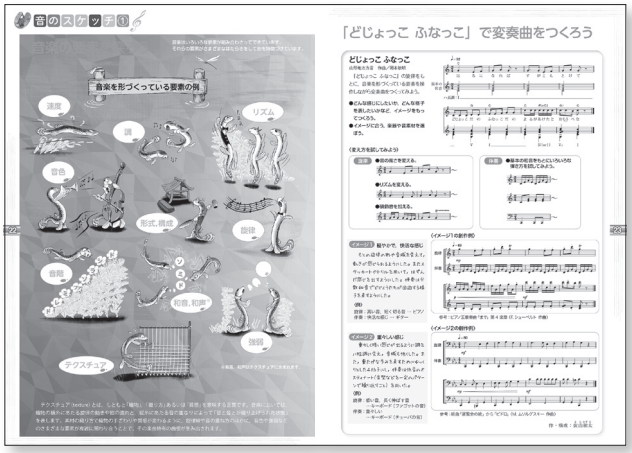
## Dramas & Music

文学，映像などと結びついた作品を紹介し，音楽と他芸術との関わりについて，理解を深めることができるよう配慮しました。

▲p.108　トゥーランドット

### 「音のスケッチ」

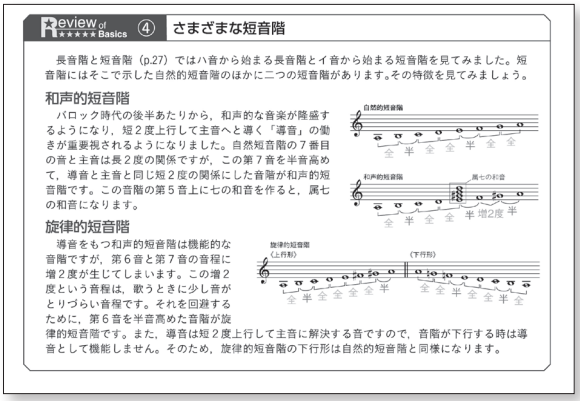
音楽を形づくっている要素とその働きを知覚・感受するとともに，それらを操作しながら，自己のイメージをもとに様々な創作活動を行うことができるよう配慮しました。




▲p.22　音のスケッチ①

### 「Review」「Review of Basics」

小学校や中学校の既習教材を取り上げ，楽曲や学習事項を振り返るコーナー「Review」や，読譜に関する基礎的な事項を解説する「Review of Basics」を設け，生徒のレディネスに応じた活動を促せるよう配慮しました。



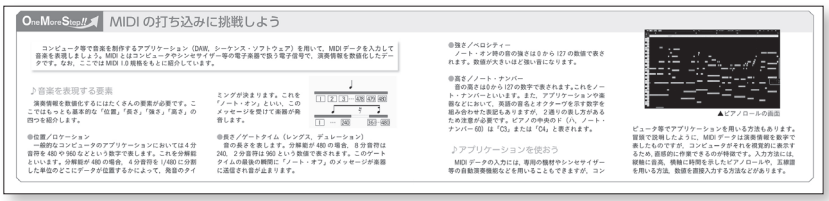

▲p.31　Review of Basics④

### 「Enjoy HUMMING!! －ハミングで歌おう－」p.11

全編ハミングで歌う合唱曲「Hum With Me..」を掲載しました。授業のウォーミングアップなど様々な用途で活用いただけます。

### 「One More Step」

題材や教材で扱った内容をより一歩深めるコーナー「One More Step」を設け，より深い学習活動を促します。




▲p.82　MIDIの打ち込みに挑戦しよう

## その他の特色

**・キャラクター「先生と生徒たち」**

先生と生徒たちのキャラクターが登場し，学習のヒントや手順を示したり，補足説明などを行ったりすることで，生徒の主体的な学習活動を促します。

**・充実した資料ページ**

楽典，楽器音域表と配置例，作曲家年表，音楽史と史実，リコーダー運指表，ギター＆キーボード・コード表などを豊富に掲載しました。

**・リンクマーク**

楽曲や学習事項などが関連しているページを示すマークを設け，学習内容が定着するよう工夫しました。

# 2．対照表

| 教材名 | 該当箇所 | A 表現 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | B 鑑賞 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | （1）歌唱 | | | | | | | （2）器楽 | | | | | | | （3）創作 | | | | | ア | | | イ | | |
| | | ア | イ | | | ウ | | | ア | イ | | | ウ | | | ア | イ | ウ | | | | | | | | |
| | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ |
| | | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 曲想と構造や背景との関わり及び効果 | 言葉の特性と発声との関わり及び効果 | 歌唱表現の固有性や多様性 | 発声、発音などの技能 | 調和を意識して歌う技能 | 特徴を生かして歌う技能 | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 曲想と構造や背景との関わり及び効果 | 曲想と音色や奏法との関わり及び効果 | 器楽表現の固有性や多様性 | 奏法、身体の使い方などの技能 | 調和を意識して演奏する技能 | 特徴を生かして演奏する技能 | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 音素材、響き、音階や音型、構成上の特徴について理解 | 反復、変化、対照を活用する技能 | 旋律、副次的旋律、和音付けする技能 | 要素を変化させ変奏や編曲をする技能 | 曲や演奏に対する評価とその根拠 | 音楽の意味や価値 | 音楽表現の共通性や固有性 | 曲想や効果と構造との関わり | 特徴と背景、他芸術との関わり | 我が国や郷土の音楽の種類と特徴 |
| Smile／Pretender／Tomorrow／島唄／見上げてごらん夜の星を | p.4～10 | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Hum With Me.. | p.11 | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| よりよい歌声のための練習曲 | p.12 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Ave Maria | p.14 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風の子供／からたちの花 | p.16～18 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| さくらさくら／我は海の子／里の秋／たき火 | p.20～21 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 音のスケッチ ① | p.22 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| Core 'ngrato／Piacer d' amor | p.24～26 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Auf Flügeln des Gesanges／Ich liebe dich | p.28～30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Yesterday once more／Let it be | p.32～34 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Take me home, country roads | p.35 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Les feuilles mortes／Tout, tout pour ma chérie | p.36～37 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 教材名 | 該当箇所 | A 表現 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | B 鑑賞 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | （1）歌唱 | | | | | | | （2）器楽 | | | | | | | （3）創作 | | | | | ア | | | イ | | |
| | | ア | イ | | | ウ | | | ア | イ | | | ウ | | | ア | イ | ウ | | | | | | | | |
| | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ |
| | | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 曲想と構造や背景との関わり及び効果 | 言葉の特性と発声との関わり及び効果 | 歌唱表現の固有性や多様性 | 発声、発音などの技能 | 調和を意識して歌う技能 | 特徴を生かして歌う技能 | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 曲想と構造や背景との関わり及び効果 | 曲想と音色や奏法との関わり及び効果 | 器楽表現の固有性や多様性 | 奏法、身体の使い方などの技能 | 調和を意識して演奏する技能 | 特徴を生かして演奏する技能 | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 音素材、響き、音階や音型、構成上の特徴について理解 | 反復、変化、対照を活用する技能 | 旋律、副次的旋律、和音付けする技能 | 要素を変化させ変奏や編曲をする技能 | 曲や演奏に対する評価とその根拠 | 音楽の意味や価値 | 音楽表現の共通性や固有性 | 曲想や効果と構造との関わり | 特徴と背景、他芸術との関わり | 我が国や郷土の音楽の種類と特徴 |
| 赤いサラファン／ソルヴェイグの歌／母が教えた歌 | p.38～39 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 草原情歌 | p.40 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 도라지 타령 トラジタリョン | p.41 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| こきりこ節／佐渡おけさ | p.42～43 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ほたるこい／Amazing grace | p.44～46 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 音のスケッチ② | p.47 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| あなたはどこに／たからもの／大きな古時計／Moon river | p.48～53 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Deck the hall with boughs of holly／You are my sunshine | p.54～55 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 音のスケッチ③ | p.56 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| Action I | p.57 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| Down by the sally gardens／「交響曲第１番」から／Air／風の谷のナウシカ | p.58～60 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| カノン集 | p.61 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| Cavatina／Can't help falling in love | p.62～63 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| エチュード集 | p.64 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| The raiders march | p.66 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 和楽器のしらべ | p.68～71 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 八木節音頭 | p.72 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 声明「散華」／箏曲「六段の調」／平曲「那須与一」 | p.75 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 「春の海」／雅楽「春庭花」／祇園祭／歌舞伎「東海道四谷怪談」／箏曲「秋風の曲」／能「松風」／長唄「秋の色種」／雅楽「御神楽」／地歌「雪」／雪音〈歌舞伎 黒御簾の音楽〉 | p.76～77 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 世界の音楽と踊り | p.78 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 世界の声の音楽, 楽器の音楽 | p.80 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 音のスケッチ④ | p.82 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 「アヴェ・マリア」を聴き比べよう | p.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| 教材名 | 該当箇所 | A 表現 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | B 鑑賞 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (1) 歌唱 | | | | | | | (2) 器楽 | | | | | | | (3) 創作 | | | | | ア | | | イ | | |
| | | ア | イ | | | ウ | | | ア | イ | | | ウ | | | ア | イ | ウ | | | | | | | | |
| | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ |
| | | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 曲想と構造や背景との関わり及び効果 | 言葉の特性と発声との関わり及び効果 | 歌唱表現の固有性や多様性 | 発声、発音などの技能 | 調和を意識して歌う技能 | 特徴を生かして歌う技能 | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 曲想と構造や背景との関わり及び効果 | 曲想と音色や奏法との関わり及び効果 | 器楽表現の固有性や多様性 | 奏法、身体の使い方などの技能 | 調和を意識して演奏する技能 | 特徴を生かして演奏する技能 | 知識や技能を生かしながら創意工夫 | 音素材、響き、音階や音型、構成上の特徴について理解 | 反復、変化、対照を活用する技能 | 旋律、副次的旋律、和音付けする技能 | 要素を変化させ変奏や編曲をする技能 | 曲や演奏に対する評価とその根拠 | 音楽の意味や価値 | 音楽表現の共通性や固有性 | 曲想や効果と構造との関わり | 特徴と背景、他芸術との関わり | 我が国や郷土の音楽の種類と特徴 |
| 無伴奏チェロ組曲第1番／<br>ツィゴイネルワイゼン／<br>アルハンブラの思い出／<br>ハンガリー田園幻想曲／<br>クラリネット・ソナタ第２番／<br>アダージョとアレグロ／<br>ハープ・ソナタ | p.92～93 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ピアノ協奏曲第１番 ホ短調 | p.94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ペール・ギュント第１組曲 | p.96 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 交響詩「ローマの松」 | p.97 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 音のスケッチ⑤ | p.98 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 交響曲第40番 ト短調 | p.100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| オリエント急行 | p.102 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ラプソディ・イン・ブルー／<br>「ショーロ集」第1番 ギター／<br>バレエ組曲「エスタンシア」／<br>リベルタンゴ | p.104～105 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 「組曲」op.25 から「プレリュード」／<br>時の終わりのための四重奏曲／<br>ソナタとインターリュード／<br>24の前奏曲／弦楽のためのレクイエム | p.106～107 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| トゥーランドット | p.108 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| キャッツ | p.110 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| Nessun dorma／<br>Over the rainbow | p.112～113 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ニュー・シネマ・パラダイス | p.114 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| タイトル曲／二人だけの映写会／<br>愛のテーマ | p.114～115 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 羽衣伝説と日本の音楽・芸能 | p.116 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 能「羽衣」から上歌 | p.116 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| いのちの名前／心と心で／<br>残酷な天使のテーゼ／<br>想い出がいっぱい | p.118～121 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |